# 東よか干潟　ラムサール条約登録推進

## 東よか干潟シンポジウム　～東よか干潟のラムサール条約湿地登録を目指して～

有明海は、日本の干潟の約４割に相当する広大な干潟を有しています。その奥部に位置する東よか干潟は、シギ・チドリ類が日本一飛来する自然の宝庫です。この干潟の価値について理解を深め、多様な生物が生息する豊かな自然環境を後世に引き継ぐことが必要です。そこで、平成26年7月27日、次世代を担う子どもたちと一緒に、干潟の価値や魅力を知る機会として、シンポジウムを開催しました。

### 基調講演：東よか干潟の魅力

１）「森の恵み・川の恵み」
　講師：島谷　幸宏氏（九州大学大学院教授・日本湿地学会会長）
２）「なぜシギ、チドリが多く飛んでくるのか」
　講師：佐藤　正典氏（鹿児島大学大学院教授）

### 子どもたちからの報告：私たちの干潟は日本一

１）「中海からの報告」
　鳥取県・中海、島根県・宍道湖の子どもたち
２）「東よか干潟からの報告」
　佐賀市東与賀町の子どもたち（干潟の探検隊・東与賀ラムサールクラブ）

### パネルディスカッション：「干潟の楽しみ」

【コーディネーター】竹下泰彦氏（NPO 法人有明海ぐるりんネット）
【パネリスト】神谷　要氏（米子水鳥公園主任指導員）
　安尾　征三郎氏（日本野鳥の会熊本県支部）
　石丸　義弘氏（シチメンソウを育てる会代表）
　吉原　敏郎氏（干潟探検隊スーパーバイザー）
　蒲原　素子氏（食生活改善推進協議会東与賀支部長）

この他、東与賀小学校６年生による「よかっ子ソーラン」踊りや、歩絵夢によるリズムダンスで、有明海や東よか干潟のすばらしさを約３００名の来場者に伝えることができました。

## 東与賀ラムサールクラブが発足しました

東よか干潟の価値や魅力を学習し、未来のリーダーを育成するため、東与賀ラムサールクラブが平成２６年４月に発足しました。東与賀町の小中学校の児童生徒と住民で構成され、干潟の生物調査、飛来する野鳥観察、他のラムサール条約湿地との交流、成果発表会など、年間を通じて様々な活動を行っています。